

令和2年度 Cherish の会 研修会報告

安城更生病院 吉田 なお子

2020年11月28日(土)9:00~12月6日(日)19:00の期間で令和2年度 Cherish の会研修会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1回開催になりましたが、初の試みでWEB方式を考えました。Cherish の会では自宅で長時間時間をとることが難しい会員を考慮し、ライブ配信という形ではなく、オンデマンド配信という形で行いました。また今回はWEB配信ということで愛知県だけでなく、他県からの参加も可能としました。申し込み人数は204名(会員134名、非会員20名、他県会員50名)と多くの方に申し込みをしていただきました。

今回の研修会は岐阜医療科学大学の篠原範充先生に「Digital Breast Tomosynthesis の精度管理」と「乳腺濃度分類の最前線」という2つのテーマで講演していただきました。

現在、多くの施設で導入され始めている Digital Breast Tomosynthesis(以下 DBT)ですが、被ばく線量の増加や読影方法の確立ができていないなど複数の問題点があることや、DBTのQCは装置ごとの管理となり、実現しやすい方法の確立、国際基準との整合性が必要であることなどを教えていただきました。乳腺濃度分類の講演では、乳房構成の評価方法を実際の画像に図を載せて分かりやすく解説していただき、臨床の読影現場ですぐに使える知識を得ることができました。

講演に対する質問は2名からあり、後日篠原先生にメールでお答えいただきました。

今回残念ながら、設定の都合で13名の方が視聴できないということが発生しましたが、オンデマンド配信という形はとても好評でした。今後も開催方法を検討し、多くの方に参加していただける研修会を行っていきたいと思います。